

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート				作成日	平成26年	6月	3日							
事務事業名	道路維持補修事業						事業類型	その他									
担当部課G等	建設部 土木課		維持管理G		記入者氏名	川崎 慶樹											
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				■ 実施計画 対象事業										
	施策名		6 利便性の高い交通基盤を整える														
	基本事業名		4 公共交通の確保														
予算科目	会計	01	款	07	項	01	目	02	事業名	根拠法令							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)										
事業概要																	
【全体概要】						【業務内容】											
<ul style="list-style-type: none"> 道路の機能維持のための補修及び自治会長等の要望による補修を行う。 道路の維持補修を、早急に対応できるよう建設資機材の整備を図る。 道路の機能維持のための補修及び次々回の要望による。 						<ul style="list-style-type: none"> 舗装補修、側溝布設、その他維持補修のための設計、積算及び監督。 砕石・舗装用合材・融雪材の購入、重機のレンタル、トラックの維持管理。 											
1 現状把握の部(DOシート)																	
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移																	
						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)						
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)											
<ul style="list-style-type: none"> 道路 建設資機材 						市道認定延長						m	1,150,240	1,150,824	1,150,824	1,150,824	1,150,824
						主要建設資機材種類数						種類	6	6	6	6	6
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)											
<ul style="list-style-type: none"> 道路舗装補修(簡易な補修を含む) 建設資機材の購入及びレンタル 建設車両の整備 						補修実施件数						件	301	214	214	214	214
						建設車両所有台数						台	5	5	5	5	5
						砕石購入量						m3	800	700	700	700	700
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)											
<ul style="list-style-type: none"> 道路機能を維持し利用者が安全に通行できるようにする。 住民及び警察等の道路維持補修要望に迅速に対応できる。 						補修実施率=実施件数/要望件数						%	95.0	95.1	95.1	95.1	95.1
						資機材提供件数						件	305	399	399	399	399
						資機材要望対応率						%	97.9	98.0	98.0	98.0	98.0
(2)投入量の推移																	
		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画									
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	100,100	40,110	70,950	37,430	0								
	内	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0								
		地方債	千円	0	80,300	29,500	52,200	27,500	0								
	費	その他	千円	0	4,707	4,500	4,500	4,500	0								
		一般財源	千円	142,399	116,844	159,869	105,475	46,695	0								
	事業費計(A)		千円	142,399	301,951	233,979	233,125	116,125	0								
人件費	正規職員	千円	13,719	2.69人	10,800	2.00人	10,800	2.00人	10,800	2.00人							
	正規外職員	千円	10,433	6.21人	9,640	4.00人	10,500	5.00人	10,500	5.00人							
	人件費計(B)	千円	24,152	20,440	21,300	21,300	21,300										
投入量(A)+(B)		千円	166,551	322,391	255,279	254,425	137,425										
(3)事務事業の環境変化・市民意見等																	
①事業を始めたきっかけ			市道管理が始まった段階から行っている。														
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			道路の老朽化が進行している。														
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			道路を利用する人から、早急に補修するよう要望がある。														

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容)	(予算への反映)							
	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0
0	千円								
0	千円								
0	千円								
0	千円								

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 住民の共有財産であるため、行政が維持管理を行う。
有効性評価 ② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合は、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 補修要望箇所が多いが、現予算の中で優先順位を決め対応しているため向上の余地はない。
有効性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はない。良好な道路環境を維持するため、廃止・休止はできない。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 良好な道路環境の維持が困難となるため、事業費の削減はない。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 道路は、不特定多数の人が利用するため、市が負担するのは適当である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)																								

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入)
 部分的な舗装補修や側溝布設だけでなく、全体的、長期的視点に立った補修業務も必要と考える。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート				作成日	平成26年	6月	3日		
事務事業名	交通安全施設整備事業						事業類型	施設等整備				
担当部課G等	建設部 土木課		維持管理G		記入者氏名	川崎 慶樹						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				■ 実施計画 対象事業					
	施策名		3 安全な交通環境を整える									
	基本事業名		2 交通安全環境の整備									
予算科目	会計	01	款	07	項	01	目	02	事業名	交通安全施設整備事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～ 年度)					
事業概要												
【全体概要】 交通安全施設の整備・道路における円滑な交通を維持し 安心安全な交通環境を確保する。						【業務内容】 ガードレール、警戒標識、カーブミラー、交差点照明灯などを設置する ための設計、積算及び監督。						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
・市道						市道認定延長	m	1,150,240	1,150,824	1,150,824	1,150,824	1,150,824
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
・ガードレール、警戒標識、カーブミラー、区画線、交差点照明等の設置						整備実施件数	件	14	19	20	20	20
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
・市道における交通の安全を図る						整備率＝実施件数/要望件数	%	95.0	95.1	95.1	95.1	95.1
						交通事故件数	件	396	374	374	374	374
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	11,842	9,323	11,770	11,770	11,770	11,770	11,770	11,770	11,770	
人件費	千円	1,530	2,660	2,660	2,660	2,660	2,660	2,660	2,660	2,660		
			0.30人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人	0.50人		
正規職員	千円	1,182	4,820	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200	4,200		
			0.70人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
正規外職員	千円	2,712	7,480	6,860	6,860	6,860	6,860	6,860	6,860	6,860		
人件費計(B)	千円	2,712	7,480	6,860	6,860	6,860	6,860	6,860	6,860	6,860		
投入量(A)+(B)	千円	14,554	16,803	18,630	18,630	18,630	18,630	18,630	18,630	18,630		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						市道の管理が始まった段階から行っている。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						市道が拡幅改良及び舗装され交通量が増加している。安全に対する住民意識の向上。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						学校から通学路の安全施設設置の要望が特に多い。						

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み																
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <table border="1"><tr><td><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td></td><td>(人件費)</td><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td></td><td>(人件費)</td><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円		(人件費)	0	千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円		(人件費)	0	千円
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円														
	(人件費)	0	千円													
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円														
	(人件費)	0	千円													

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	■ 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市道の管理に付帯する交通安全施設の整備は、行政が行わなければならない。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されてはいませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	■ 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 管理する範囲は決まっている。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■ 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がなく、市道路の安全を確保するためには、休止・廃止はできない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できますか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 安全施設の要望が多々あり、すべて対応するには財源が必要となるため、事業費の削減余地はない。また、直営での対応も行っており、人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) ■ 受益者負担を求めない事業ではない 道路の安全施設は、不特定多数の住民が受益する施設であるので財源配分は公平である。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 ■ 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 } ■ 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																							
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)		改革・改善による期待成果																					
		<table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">成果</th><th rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="3">向上</td><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	成果		コスト			削減	維持	増加	向上	維持				維持				低下			
成果		コスト																					
		削減	維持	増加																			
向上	維持																						
	維持																						
	低下																						
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))		※担当部長が記載																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 ■ 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し ■ 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) 通学路の安全確保等、緊急性や必要性に配慮した事業の実施が必要である。																							
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																							
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																							

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	9日		
						点検日	平成26年	6月	20日		
事務事業名	両宮遊歩道管理事業					事業類型	その他				
担当部課G等	建設部 土木課			維持管理グループ		記入者氏名	植田 徹也				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					□ 実施計画対象事業			
	施策名		8 魅力ある市街地を形成する								
	基本事業名		2 公園の適正な管理								
予算科目	会計	01	款	07	項	01	目	02	事業名 両宮遊歩道管理事業	根拠法令	
事業期間	□ 単年度のみ					■ 単年度繰返 (開始年度 平成25年度～)			□ 期間限定複数年度 (年度 ～ 年度)		
事業概要											
【全体概要】 両宮遊歩道の維持管理を行う。					【業務内容】 委託契約事務、軽微な補修業務、要望等の対応						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
市民 両宮遊歩道	人口	人	55,835	55,986	55,887	55,500	55,300
	延長	m	500	500	500	500	500
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
遊歩道の清掃、除草及び樹木選定を実施した。	清掃・除草回数	回	200	200	200	200	200
	剪定・消毒回数	回	1	1	1	1	1
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
安全な公共緑地として確保する。	苦情件数	件	1	1	1	1	1
	宅地化率	%	43.8	59.4	59.4	59.4	59.4

(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	2,365	2,084	2,993	2,993	2,993	0
	事業費計(A)	千円	2,365	2,084	2,993	2,993	2,993	0
人件費	千円	510	500	500	500	500		
正規職員			0.10人	0.10人	0.10人	0.10人		
正規外職員	千円	0	0	0	0	0		
			0.00人	0.00人	0.00人	0.00人		
人件費計(B)	千円	510	500	500	500	500		
投入量(A)+(B)	千円	2,875	2,584	3,493	3,493	3,493		

(3)事務事業の環境変化・市民意見等

①事業を始めたきっかけ	水路を暗渠化し、災害時の緊急避難路、緊急車両の進入ルートにするなど上部を遊歩道として活用。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	特になし
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	特になし

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <p>管理の一元化については組織見直しの中で検討し、ボランティアについても通年で継続して受けてもらえる組織がないことから、現状維持とした。</p>	(予算への反映) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: top;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円	(人件費)	0	千円	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円																
(人件費)	0	千円																
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円																
(人件費)	0	千円																
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																		

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 憩いのある市民生活の向上を考慮すると、市が事業を継続することが必要である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 遊歩道の植栽に来る蜂などの虫や、落葉などの苦情があるが、今以上の清掃を行うことは難しく、これ以上の成果を向上させる余地はない。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 遊歩道の清掃・除草等こまめな管理が難しい。また、廃止や休止した場合、遊歩道が荒廃し、環境・防犯上良くない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) シルバー人材センターに委託して、維持管理費の削減を図っている。人件費は必要最小限の確認作業のみを行っているため、削減の余地がない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 誰でも利用できる遊歩道であり、受益者負担を求めるものでない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	×
	低下	×	×	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入)
 今後も経費削減に向けた取り組みが必要と思われる。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	5月	29日
						点検日	平成26年	6月	24日
事務事業名	道路改良舗装事業					事業類型	その他		
担当部課G等	建設部 土木課			建設G		記入者氏名	海老沢 美彦		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画対象事業	
	施策名		6 利便性の高い交通基盤を整える						
	基本事業名		2 生活道路の整備						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	道路法	
			07	01	03	道路改良舗装事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
			(開始年度 年度～)			(年度 ~ 年度)			
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
市道に認定してある道路を対象に、生活道路としての交通の利便を図るとともに、通過交通量の多い道路には自動車・自転車及び歩行者が安心して移動できる車道や歩道の整備を進める。					<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画及び詳細設計 ・事業説明会、境界立会い等の実施 ・地権者交渉 ・工事費積算及び監督 				

1 現状把握の部(DOシート)

(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移

	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)					
整備の必要性がある市道	計画延長	m	3,805	2,020	2,150	2,390
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					
関係地権者への通知・説明会の実施・同意確認・測量設計・用地取得・工事実施	改良舗装等工事発注件数	件	14	8	12	12
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)					
市道について、地域からの要望に対応した整備を行う(拡幅、舗装、歩道整備)	道路改良率	%	22.71	23.39	23.45	23.50

(2) 投入量の推移

	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	13,800	14,300	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0
	地方債	千円	114,300	86,600	109,915	91,079	83,650
	その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	82,556	164,162	139,187	122,404	143,269
事業費計(A)	千円	210,656	265,062	249,102	213,483	226,919	1,109,031
人件費	正規職員	千円	23,450	12,200	12,200	12,200	12,200
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0
人件費計(B)	千円	23,450	12,200	12,200	12,200	12,200	
投入量(A)+(B)	千円	234,106	277,262	261,302	225,683	239,119	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①事業を始めたきっかけ	・市の事業実施計画や地元からの要望による。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	・地域の要望を考慮し、市道を計画道路、整備基準道路、狭あい道路等の整備グレード分けし行政としての「みちづくり」のビジョンが求められている。また、要望の優先順位の付け方についての厳格性が求められている。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	・市民が必要としている路線の早期実施、早期完了及び市民が納得できる整備路線の選定の要望がある。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み												
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr><tr><td style="text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">19,832</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="width: 50px; text-align: center;">0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	19,832	千円	0	千円
0	千円											
0	千円											
0	千円											
19,832	千円											
0	千円											

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 道路は不特定多数の人が利用するので、利用者の利便性と安全性向上のためには行政が整備を行わなければならない。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 整備率を向上させるためには、行政のみならず関係地権者の理解と協力が不可欠であり、今後はこれらが益々事業進捗の上で重要になる。
公平性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 農道整備事業との統合を検討できるが、所管事業省庁との協議を要するため、現時点での実行は難しい。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 最小限の工事内容で行っており事業費を削減すると路線毎の完了年度が遅れるため削減は厳しい。人員は、設計、監督の他に交渉等もっており、人件費の削減は極めて厳しい。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 不特定多数の市民が利用するため、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 円滑に事業を推進するためには、事前協議、同意書取得、説明会等の進め方について再考する必要がある。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	5月	29日			
事務事業名	安心安全対策両宮排水路整備事業					事業類型	その他					
担当部課G等	建設部 土木課			建設G	記入者氏名	海老沢 美彦						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				■ 実施計画 対象事業					
	施策名		1 災害に強い環境を整える									
	基本事業名		1 防災対策の強化									
予算科目	会計	01	款	07	項	01	目	03	事業名	安心安全対策両宮排水路整備事業	根拠法令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成26年度～平成27年度)					
事業概要												
【全体概要】 両宮排水路の改修により冠水被害等を防ぎ、安心安全で住環境の高い市街地の形成を進める。						【業務内容】 遊歩道整備						

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	全体計画		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
遊歩道を利用者		遊歩道の利用者数	人	1,000	1,000	1,000	1,500	1,500		
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
25年度実績 函渠整備工 L=531m		函渠工整備延長	m	0	531	0	0	0		
26年度計画 遊歩道整備工 L=830m		遊歩道整備延長	m	0	0	830	0	0		
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
遊歩道を利用する人の満足度		函渠工整備率	%	42.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
		遊歩道整備率	%	42.0	42.0	100.0	100.0	100.0		
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画		
事業費	国庫支出金	千円	0	401,825	29,800	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	213,000		
	地方債	千円	109,900	0	24,200	0	0	0		
	その他	千円	0	0	0	0	0	1,015,610		
	一般財源	千円	77,969	174,856	1,300	0	0	308,680		
	事業費計(A)	千円	187,869	576,681	55,300	0	0	1,537,290		
人件費	千円	7,020	7,020	7,020	7,020	7,020	7,020			
正規職員	千円	7,020	7,020	7,020	7,020	7,020	7,020			
正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0			
人件費計(B)	千円	7,020	7,020	7,020	7,020	7,020	7,020			
投入量(A)+(B)	千円	194,889	583,701	62,320	7,020	7,020	7,020			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ		降雨により冠水被害が発生するため、冠水被害を解消するとともに街づくりとしての遊歩道整備に着手した。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		冠水被害が無くなり、遊歩道が憩いの場所となっている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		整備の早期完成が望まれている。								

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input checked="" type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="text-align: center;">5,530</td><td style="text-align: right;">千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="text-align: center;">7,020</td><td style="text-align: right;">千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: right;">千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td style="text-align: center;">0</td><td style="text-align: right;">千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 反映なし	5,530	千円	7,020	千円	0	千円	0	千円
5,530	千円									
7,020	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民の安全と生命、財産を守るのは市の責務である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 今年度で事業が完成予定としており成果は達成される。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性ある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 今年度で事業が完成予定としており統廃合、廃止、休止の可能性はない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できますか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 今年度で事業が完成予定としており成事業費、人件費の削減余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 不特定多数の市民が利用する遊歩道の整備であるため受益者負担を求めない事業ではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																					
<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <input type="checkbox"/> 公平性の改善 </td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																			
<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																					
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 今年度で終了を予定している。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載 <input checked="" type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じ場合も記入) 市街化区域内の雨水排水が円滑に処理できるようになるとともに、歩行者の回遊性が確保できるようになった。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート				作成日	平成26年	5月	29日			
事務事業名	河川維持事業						事業類型	その他					
担当部課G等	建設部 土木課			建設G		記入者氏名	海老沢 美彦						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				<input type="checkbox"/> 実施計画 対象事業						
	施策名		1 災害に強い環境を整える										
基本事業名		2 災害時対応の体制の確立											
予算科目	会計	01	款	07	項	02	目	02	事業名	河川維持事業	根拠法令		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)				<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成26年度～平成30年度)						
事業概要													
【全体概要】 両宮排水路及び調整池施設の維持管理を行い浸水等の被害を防ぐ。 【調整池】 ①一ノ関(福田)②みの内(菅谷)③太想次(菅谷) ④竹ノ内(竹ノ内)⑤平野台(平野)						【業務内容】 維持管理業務 ・ポンプ施設の点検 ・除草、清掃 ・修繕							
1 現状把握の部(DOシート)													
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移													
						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
排水路及び調整池						点検箇所数	箇所	6	6	6	6	6	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
・排水路、調整池の維持管理(ポンプの点検、除草、清掃等) ・施設の修繕等						点検回数	回	30	30	30	30	30	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
調整池機能を維持し浸水被害を防ぐ						浸水件数	件	6	3	5	5	5	
						災害件数	件	0	0	0	0	0	
(2)投入量の推移													
		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画					
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	1,143	1,393	1,865	1,865	1,865	1,865	1,865	1,865			
人件費	千円	600	407	407	407	407	407	407	407				
正規職員			0.05人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人	0.07人				
正規外職員			0	0	0	0	0	0	0				
人件費計(B)	千円	600	407	407	407	407	407	407	407				
投入量(A)+(B)		千円	1,743	1,800	2,272	2,272	2,272	2,272	2,272				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等													
①事業を始めたきっかけ			排水路の整備や区画整理等の事業により調整池が建設されたため。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			那珂市では発生していないが、全国的には転落事故等が発生した場合に管理責任が問われ、賠償件数が増えている。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			安全な調整池機能の維持管理が要望されている。										

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 災害から市民の生命、財産を守ることは市の責務である。
有効性評価 ② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 現在は調整機能を維持し、安定した排水を行えるためこれ以上の向上の余地はない。
有効性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 調整機能に支障をきたし安定した排水が出来ず、事故等の危険が増す。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 定期点検を月1回程度、降雨時点検を適時に実施しており、管理上時間の削減、また、担当者2名で対応しているため人件費の削減は困難である。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 不特定多数の市民が被災者になり得るため、受益者負担を求めない事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入)
 安定した雨水排水のためには、常日頃の点検業務等が重要である。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	5月	29日	
						点検日	平成26年	6月	24日	
事務事業名	両宮排水路整備事業					事業類型	その他			
担当部課G等	建設部 土木課			建設G		記入者氏名	海老沢 美彦			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業		
	施策名		1 災害に強い環境を整える							
	基本事業名		1 防災対策の強化							
予算科目	会計	01	款	07	項	02	目	03	事業名 両宮排水路整備事業	根拠法令
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成22年度～平成30年度)					
事業概要										
【全体概要】 両宮排水路(菅谷～田彦)総延長約3,816mのうち未整備区 間(3,216m)を整備し安定した排水処理と、冠水被害を抑制 し安心安全な街づくりをすすめる。					【業務内容】 ・事業計画及び詳細設計 ・地権者交渉 ・工事費積算及び監督					

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
冠水の影響がある宅地	隣接する宅地数	筆	54	54	54	54	54
冠水の影響がある農地	隣接する農地数	筆	284	284	284	284	284
②手段(具体的な事務事業のやり方)	⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
改修工事 L=222m	排水路整備延長	m	540	222	242	376	240
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)	⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
冠水被害の抑制	整備率	%	35.0	44.0	55.0	70.0	80.0

(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	72,000	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	103,900	149,700	81,900	90,700	72,500	0
	その他	千円	0	0	0	0	0	524,000
	一般財源	千円	5,597	9,083	4,486	4,480	3,820	552,918
事業費計(A)		千円	109,497	230,783	86,386	95,180	76,320	1,076,918
人件費	正規職員	千円	8,400	10,868	10,868	10,868	10,868	
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	8,400	10,868	10,868	10,868	10,868	
投入量(A)+(B)		千円	117,897	241,651	97,254	106,048	87,188	

(3)事務事業の環境変化・市民意見等

①事業を始めたきっかけ	降雨による冠水被害が発生するため、冠水被害を抑制するため整備に着手した。
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)	那珂市ではないが、全国的に冠水被害が発生した場合、整備の遅れによる管理責任を問われ、賠償問題に発展する案件が増えている。
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)	隣接する住民からは、整備の早期完成の要望がある。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み																		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民の安全と生命、財産を守るのは市の責務である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業を推進することにより必要な成果は得られる。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業はなく、廃止、休止することは被害を拡大させることになる。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 現場状況にあった工法を選定しており、事業の抑制は困難である。事業内容を考慮すると人員は少ない体制であり削減の余地はない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求め事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 不特定多数の市民が被災者になり得るため、受益者負担を求め事業ではない。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td> <td><input type="checkbox"/> 有効性の改善</td> <td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																		
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																				
<input type="checkbox"/> 公平性の改善																						
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画) <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <caption>改革・改善による期待成果</caption> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) 菅谷地区の安定した雨水排水のためにも、早期の整備が求められている。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート				作成日	平成26年	6月	13日																																																																																																									
事務事業名	戸多地区地籍調査事業				事業類型	業務委託																																																																																																													
担当部課G等	建設部 土木課		用地室用地グループ		記入者氏名	疋田 克彦																																																																																																													
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり				■ 実施計画 対象事業																																																																																																												
	施策名		7 調和の取れた土地利用を図る																																																																																																																
	基本事業名		1 適正な土地利用の推進																																																																																																																
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	06	事業名	戸多地区地籍調査事業	根拠法令	国土調査法、国土調査法施行令																																																																																																							
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成16年度～平成27年度)																																																																																																														
事業概要																																																																																																																			
【全体概要】 本市では、昭和30～40年代にかけて地籍調査を実施しているが、航測法や図解法による測量であったため、現在の地図は調査後40数年以上も経過したもので、公図と現地が不整合な箇所が多く見られ、登記事務等に支障をきたしている状況であり、再度地籍調査を行うものである。						【業務内容】 ・事業の計画・設計・説明会・境界立会(長狭・一筆地)・認証請求・地籍調査成果の販売																																																																																																													
1 現状把握の部(DOシート)																																																																																																																			
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移																																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>単位</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(見込)</th> <th>27年度(計画)</th> <th>28年度(計画)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等</td> <td colspan="5">④対象指標(対象の大きさを表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">地籍調査区域内の土地</td> <td>地籍調査対象面積(A)</td> <td>km²</td> <td>12.43</td> <td>12.43</td> <td>12.43</td> <td>12.43</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td colspan="2">②手段(具体的な事務事業のやり方)</td> <td colspan="5">⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">境界の確認作業及び測量により、地籍図及び地籍簿を作成後成果の登記をする。</td> <td>当該年度現地調査面積</td> <td>km²</td> <td>0.71</td> <td>0.91</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)</td> <td colspan="5">⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">土地の正確な情報(地番、地目、面積、所有者の住所、氏名)を明らかにする。</td> <td>現地調査完了面積(B)</td> <td>km²</td> <td>11.51</td> <td>12.43</td> <td>12.43</td> <td>12.43</td> <td>0.00</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>完了率(B/A)</td> <td>%</td> <td>92.6</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>0.0</td> </tr> </tbody> </table>													単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)					地籍調査区域内の土地		地籍調査対象面積(A)	km ²	12.43	12.43	12.43	12.43	0.00	②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)					境界の確認作業及び測量により、地籍図及び地籍簿を作成後成果の登記をする。		当該年度現地調査面積	km ²	0.71	0.91	0.00	0.00	0.00	③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)					土地の正確な情報(地番、地目、面積、所有者の住所、氏名)を明らかにする。		現地調査完了面積(B)	km ²	11.51	12.43	12.43	12.43	0.00			完了率(B/A)	%	92.6	100.0	100.0	100.0	0.0																																								
	単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)																																																																																																													
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)																																																																																																																	
地籍調査区域内の土地		地籍調査対象面積(A)	km ²	12.43	12.43	12.43	12.43	0.00																																																																																																											
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																																																																																																	
境界の確認作業及び測量により、地籍図及び地籍簿を作成後成果の登記をする。		当該年度現地調査面積	km ²	0.71	0.91	0.00	0.00	0.00																																																																																																											
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)																																																																																																																	
土地の正確な情報(地番、地目、面積、所有者の住所、氏名)を明らかにする。		現地調査完了面積(B)	km ²	11.51	12.43	12.43	12.43	0.00																																																																																																											
		完了率(B/A)	%	92.6	100.0	100.0	100.0	0.0																																																																																																											
(2)投入量の推移																																																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>単位</th> <th>24年度(実績)</th> <th>25年度(実績)</th> <th>26年度(見込)</th> <th>27年度(計画)</th> <th>28年度(計画)</th> <th>全体計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">事業内 費</td> <td>国庫支出金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財源支金</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>3,280</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>千円</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>千円</td> <td>28,412</td> <td>30,674</td> <td>8,036</td> <td>4,073</td> <td>0</td> <td>384,934</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費計(A)</td> <td>千円</td> <td>28,412</td> <td>30,674</td> <td>8,036</td> <td>4,073</td> <td>0</td> <td>388,214</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td>千円</td> <td>4,710</td> <td>6,390</td> <td>6,865</td> <td>6,865</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員</td> <td>千円</td> <td>1.10人</td> <td>1.30人</td> <td>1.37人</td> <td>1.37人</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規外職員</td> <td>千円</td> <td>2,455</td> <td>2,445</td> <td>2,461</td> <td>2,461</td> <td>0</td> <td>0.00人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>千円</td> <td>7,165</td> <td>8,835</td> <td>9,326</td> <td>9,326</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">投入量(A)+(B)</td> <td>千円</td> <td>35,577</td> <td>39,509</td> <td>17,362</td> <td>13,399</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>														単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画	事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	財源支金	千円	0	0	0	0	0	0	地方債	千円	0	0	0	0	0	3,280	その他	千円	0	0	0	0	0	0	一般財源	千円	28,412	30,674	8,036	4,073	0	384,934	事業費計(A)		千円	28,412	30,674	8,036	4,073	0	388,214	人件費	千円	4,710	6,390	6,865	6,865	0	0		正規職員	千円	1.10人	1.30人	1.37人	1.37人	0	0.00人		正規外職員	千円	2,455	2,445	2,461	2,461	0	0.00人		人件費計(B)	千円	7,165	8,835	9,326	9,326	0	0		投入量(A)+(B)		千円	35,577	39,509	17,362	13,399	0	
		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画																																																																																																											
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																											
	財源支金	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																											
	地方債	千円	0	0	0	0	0	3,280																																																																																																											
	その他	千円	0	0	0	0	0	0																																																																																																											
	一般財源	千円	28,412	30,674	8,036	4,073	0	384,934																																																																																																											
事業費計(A)		千円	28,412	30,674	8,036	4,073	0	388,214																																																																																																											
人件費	千円	4,710	6,390	6,865	6,865	0	0																																																																																																												
正規職員	千円	1.10人	1.30人	1.37人	1.37人	0	0.00人																																																																																																												
正規外職員	千円	2,455	2,445	2,461	2,461	0	0.00人																																																																																																												
人件費計(B)	千円	7,165	8,835	9,326	9,326	0	0																																																																																																												
投入量(A)+(B)		千円	35,577	39,509	17,362	13,399	0																																																																																																												
(3)事務事業の環境変化・市民意見等																																																																																																																			
①事業を始めたきっかけ 法務局備え付け地図と現地とに不整合が多数生じており、登記事務に支障をきたしているため。																																																																																																																			
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?) 土地所有者の代替わりなどにより、昔ほど土地の管理がされていないため、現地調査に時間を要することが多くなっている。																																																																																																																			
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?) 現在調査中及び未調査地区からは、早期に調査してほしいとの要望が寄せられている。																																																																																																																			

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み										
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国土調査法に基づく土地調査であり、市が主体となり実施すべき事業である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 地区毎に年次計画を作成して調査を進めており、成果向上は難しい。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 他課における同一の事業はない。 事業途中での廃止・休止は、それまでの成果を無駄にすることになる。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費の大半は現地調査の委託料であり、削減は難しい。 人件費も、非常勤職員に現地調査を依頼するなど削減に努めている。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 国土調査に基づく土地の調査であるため受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">向上</td> <td>維持</td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </tbody> </table>	成果		コスト			削減	維持	増加	向上	維持		○	×	低下	×	×	×	向上	×	×	×
成果				コスト																		
		削減	維持	増加																		
向上	維持		○	×																		
	低下	×	×	×																		
	向上	×	×	×																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) 法務局への成果送り込みのための業務を早急に進めなければならない。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート				作成日	平成26年	6月	13日			
点検日							点検日	平成26年	6月	20日			
事務事業名	木崎地区地籍調査事業					事業類型	業務委託						
担当部課G等	建設部 土木課			用地室用地グループ		記入者氏名	疋田 克彦						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業					
	施策名		7 調和の取れた土地利用を図る										
	基本事業名		1 適正な土地利用の推進										
予算科目	会計	01	款	05	項	01	目	06	事業名	木崎地区地籍調査事業	根拠法令	国土調査法、国土調査法施行令	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成19年度～平成30年度)								
事業概要													
【全体概要】 本市では、昭和30～40年代にかけて地籍調査を実施しているが、航測法や図解法による測量であったため、現在の地図は調査後40年以上も経過したもので、公図と現地が不整合な箇所が多く見られ、登記事務等に支障をきたしている状況であり、再度地籍調査を行うものである。						【業務内容】 ・事業の計画・設計・説明会・境界立会(長狭・一筆地)・認証請求・地籍調査成果の販売							
1 現状把握の部(DOシート)													
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
地籍調査区域内の土地						地籍調査対象面積(A)	km ²	8.8	8.8	8.8	8.8	8.8	
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
境界の確認作業及び測量により、地籍図及び地籍簿を作成後成果の登記をする。						当該年度現地調査面積	km ²	0.73	0.68	1.01	0.53	0.56	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
土地の正確な情報(地番、地目、面積、所有者の住所、氏名)を明らかにする。						現地調査完了面積(B)	km ²	5.36	6.04	7.05	7.58	8.14	
						完了率(B/A)	%	60.91	68.64	80.11	86.14	92.50	
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	財源支金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000		
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	一般財源	千円	27,332	28,495	36,181	24,639	27,376	253,000					
事業費計(A)	千円	27,332	28,495	36,181	24,639	27,376	273,000						
人件費	千円	4,710	6,700	6,796	6,796	6,796							
正規職員	千円	1.10人	1.40人	1.37人	1.37人	1.37人							
正規外職員	千円	2,455	2,445	2,461	2,461	2,461							
正規外職員	千円	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人	1.00人							
人件費計(B)	千円	7,165	9,145	9,257	9,257	9,257							
投入量(A)+(B)	千円	34,497	37,640	45,438	33,896	36,633							
(3)事務事業の環境変化・市民意見等													
①事業を始めたきっかけ						法務局備え付け地図と現地とに不整合が多数生じており、登記事務に支障をきたしているため。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						土地所有者の代替わりなどにより、昔ほど土地の管理がされていないため、現地調査に時間を要することが多くなっている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						現在調査中及び未調査地区からは、早期に調査してほしいとの要望が寄せられている。							

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み																		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国土調査法に基づく土地調査であり、市が主体となって実施すべき事業である。
有効性評価 ② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 地区毎に年次計画を作成して調査を進めており、成果向上は難しい。
有効性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 他課における同一の事業はない。 事業途中での廃止・休止は、それまでの成果を無駄にすることになる。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費の大半は現地調査の委託料であり、削減は難しい。 人件費も、非常勤職員に現地調査を依頼するなど削減に努めている。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 国土調査に基づく土地の調査であるので受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PPLAN)																						
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善																					
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td>⊗</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>⊗</td> <td>⊗</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	⊗	低下		⊗	⊗
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○	⊗																		
	低下		⊗	⊗																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) 今後とも計画的に調査業務を進める。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	13日	
						点検日	平成26年	6月	20日	
事務事業名	未登記道路整理事業					事業類型	その他			
担当部課G等	建設部 土木課			用地室用地G		記入者氏名	松本 啓二			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業		
	施策名		6 利便性の高い交通基盤を整える							
	基本事業名		2 生活道路の整備							
予算科目	会計	01	款	07	項	01	目	01	事業名 未登記道路整理事業	根拠法令
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成22年度～平成29年度)					
事業概要										
【全体概要】 旧瓜連町で道路整備を行ったが、諸事情により所有権移転登記がされていない土地について、土地の所有者の同意を得て、那珂市への所有権移転登記をする。					【業務内容】 ・土地の所有者の調査(所有者が亡くなっているときは相続人の調査) ・土地の所有者への事情説明と協力依頼 ・測量調査と境界確認の実施 ・土地の分筆と所有権移転登記の申請 など					

1 現状把握の部(DOシート)									
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移									
		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
未登記となっていた土地			未登記土地総数(A)						
			筆	184	184	184	184	184	
			年度当初未登記土地残数						
			筆	131	104	76	52	34	
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
未登記となっている土地の復元測量を行い、土地の所有者と隣接地の所有者立会いのもと境界確認を実施、登記申請に必要な書類を集め、土地を分筆して、道路部分の所有権を那珂市に変更する。			当該年度登記完了土地数						
			筆	27	28	24	18	21	
			当該年度測量実施土地数						
			筆	12	11	16	28	21	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
所有権移転登記を行う。			登記済土地総数(B)						
			筆	80	108	132	150	171	
			登記完了率(B/A)						
			%	41.30	58.70	71.74	81.52	92.93	
(2) 投入量の推移									
		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画	
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	914	1,749	2,580	3,360	3,560	21,450	
	事業費計(A)	千円	914	1,749	2,580	3,360	3,560	21,450	
人件 費	正規職員	千円	4,775	7,010	8,230	8,230	8,230		
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0		
	人件費計(B)	千円	4,775	7,010	8,230	8,230	8,230		
投入量(A)+(B)		千円	5,689	8,759	10,810	11,590	11,790		
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ			旧瓜連町で道路整備をしたものの諸事情により未登記のまま残っている土地について、所有権移転登記する必要があった。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			事業の進捗に伴い、残っている案件は「相続人が20人以上いる」など、処理が難しいものが増えてきている。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			現地と公図との合致した登記が不可欠となるが、未相続や境界不同意等の不可事項がなければ早期に未登記を解消して欲しいとの声がある。						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	5月	21日			
						点検日	平成26年	6月	25日			
事務事業名	都市計画見直し事業					事業類型	一般事務					
担当部課G等	建設部 都市計画課			都市計画G		記入者氏名	秋山光広					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業				
	施策名		7 調和の取れた土地利用を図る									
	基本事業名		1 適正な土地利用の推進									
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	都市計画法				
			07	03	01	都市計画見直し事業						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成19年度～平成30年度)							
事業概要												
【全体概要】 都市計画決定後における土地利用の状況を把握し、適切な用途地域及び都市施設(道路)の配置等を検討すると共に、総合計画、都市計画マスタープラン等の上位計画での位置づけられた都市計画を実現するため、県計画及び水戸・勝田区域との整合を図りつつ、都市計画変更を行うことを目的とする。					【業務内容】 都市計画見直し及び都市計画決定手続き業務							
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
関係地権者及び利害関係者						用途変更箇所数(面積)	ha	0	11	50	50	50
						地区計画街区道路変更(延長)	m	300	244	0	0	0
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
都市計画変更 都市計画決定の整備方針の検討						説明会の開催数	回	1	3	2	2	2
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
都市計画決定・変更について理解をして頂く土地利用の訂正化を図り、良好な市街地の形成						用途変更箇所数(面積)	ha	0	11	50	50	50
						都市計画道路(街区)変更路線(延長)	m	300	244	0	0	0
						都市計画法に基づく勧告数	件数	0	0	0	0	0
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業 費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源 支 出 金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方 債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	そ の 他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一 般 財 源	千円	840	1,197	2,500	6,000	1,500	0	0	0	0	
	事 業 費 計(A)	千円	840	1,197	2,500	6,000	1,500	0	0	0	0	
人 件 費	正 規 職 員	千円	5,320	5,040	5,040	5,040	5,040	5,040	5,040	5,040	5,040	
	正 規 外 職 員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	人 件 費 計(B)	千円	5,320	5,040	5,040	5,040	5,040	5,040	5,040	5,040	5,040	
	投入量(A)+(B)	千円	6,160	6,237	7,540	11,040	6,540					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			都市施設整備に整合した土地利用の多様化のための用途地域の変更と、必要性等について検証し、土地利用規制を図る。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			都市計画の決定・変更により、適切な土地利用が図られる。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			土地利用の有効活用及び現況に見合った、区域区分・用途地域の明確化									

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み																		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="width: 50px; height: 15px;">0</td><td>千円</td></tr> <tr><td style="width: 50px; height: 15px;">0</td><td>千円</td></tr> </table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="width: 50px; height: 15px;">0</td><td>千円</td></tr> <tr><td style="width: 50px; height: 15px;">0</td><td>千円</td></tr> </table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="width: 50px; height: 15px;">0</td><td>千円</td></tr> <tr><td style="width: 50px; height: 15px;">0</td><td>千円</td></tr> </table> (人件費 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td style="width: 50px; height: 15px;">0</td><td>千円</td></tr> <tr><td style="width: 50px; height: 15px;">0</td><td>千円</td></tr> </table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 区域区分・用途地域の指定及び都市施設の決定・変更は行政が行うものである。
有効性評価 ② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果の一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 関係地権者の理解を得るためには、現状の説明会による方法が効果的であり、これ以上の成果の向上余地はない。
効率性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事務事業はない。
公平性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 事業費は、政策的に関係機関との協議に技術を要しコンサルの活用が不可欠である。 人件費は、手続き事務に時間がかかるため不可能である。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市街化区域内の土地利用のためであり、受益者負担を求める事業ではない。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない) }
--	---

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入)
 市街化区域の土地利用状況や都市施設の整備状況等により適宜見直しを検討する。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成25年	6月	13日
						点検日	平成26年	6月	24日
事務事業名	下菅谷地区まちづくり事業					事業類型	補助事業		
担当部課G等	建設部 都市計画課			都市整備G		記入者氏名	海野英樹		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		8 魅力ある市街地を形成する						
	基本事業名		1 快適な市街地の整備						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令		
			07	03	03	下菅谷地区まちづくり事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成24年度～平成28年度)				
事業概要									
【全体概要】 災害時避難路に通じる生活道路の整備と防災・救助活動拠点となる広場の整備。市街地内の拠点となる施設への回遊性を高めるため、幹線道路及び拠点施設周辺の歩道空間の整備。					【業務内容】 下菅谷地区計画に基づく、協議会の開催及び地区計画道路の測量設計・用地買収・道路工事。				

1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移												
						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
道路						計画延長	m	2,380	2,630	2,630	2,630	2,630
						道路用地面積	m ²	20,280	20,280	20,280	20,280	20,280
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
道路測量設計委託 道路用地買収、物件移転補償 道路改良工事						用地買収面積	m ²	0	2,635	1,680	900	2,087
						工事延長	m	260	0	280	430	200
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
用地買収を進める 道路改良工事を進める						用地買収進捗率	%	0.0	41.7	50.0	54.4	64.7
						市街地内の歩道整備延長	m	9,245	9,245	9,710	9,710	12,934
						市街地内で「安全な生活が送れている」と感じる住民の	%	67.1	67.1	70.8	70.8	74.6
(2)投入量の推移												
		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画				
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	24,626	0	111,000	21,600	0			
	内	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	22,900	112,000	146,300	33,500	0			
	費	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
		一般財源	千円	20,287	62,644	9,600	30,000	83,200	0			
	事業費計(A)		千円	20,287	110,170	121,600	287,300	138,300	0			
人件費	正規職員	千円	4,731	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600				
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0				
	人件費計(B)	千円	4,731	4,600	4,600	4,600	4,600					
投入量(A)+(B)		千円	25,018	114,770	126,200	291,900	142,900					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			区画整理事業で整備する予定であったが、地元住民を主体とするまちづくり協議会を設立し、地区計画策定とともにまちづくりを開始した。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			道路・下水道の整備が進んだことにより、土地利用が進んでいる。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			道路・下水道の早期整備が望まれている。									

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会基盤整備は快適な社会生活をおくるために必要である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会資本総合交付金を活用し社会資本総合計画を基本に事業を行っている。
有効性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性ある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 区画整理事業を見直したにより、市街化区域であるが社会基盤の整備が遅れている区域であり、これ以上整備を遅らせることはできない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できますか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 用地買収は、地権者と交渉を行うため人件費の削減はできない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求め事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求め事業ではない 道路は不特定多数の人が利用するものであるため適正である。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

成果	向上	コスト		
	維持	削減	維持	増加
	低下	X	O	X

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入)
 事業計画年度内の竣工を目途に事業を推進するとともに、次期計画の準備を進めなければならない。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	5月	21日			
点検日						点検日	平成26年	6月	24日			
事務事業名	上菅谷駅前地区まちづくり事業					事業類型	その他					
担当部課G等	建設部 都市計画課			都市計画G		記入者氏名	椎名健文					
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画対象事業				
	施策名		8 魅力ある市街地を形成する									
	基本事業名		1 快適な市街地の整備									
予算科目	会計	01	款	07	項	03	目	03	事業名	根拠法令	都市計画法	
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(開始年度 年度～) (平成14年度～平成29年度)					
事業概要												
【全体概要】 上菅谷駅前地区土地区画整理事業(A=5.9ha)の実施に伴い、関連公共施設(街区公園、緑地、駐車場、公共下水道、雨水排水施設等)の整備を行う。地区の活性化のため街づくり協議会を設立し、地区住民と協働で街づくり活動を推進する。					【業務内容】 区画整理関連施設工事や街区公園等の工事及び街づくり協議会活動支援を行なう。							
1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
地区内の住民、世帯						地区内の世帯数	世帯	66	67	68	69	70
						地区内の人口	人	235	235	235	235	235
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
区画整理関連公共施設(公共下水道工事・環境整備)工事 市管理地除草、街づくり協議会活動支援						公共下水道工事延長	m	15	0	120	0	0
						協議会の開催数	回数	4	4	4	4	4
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
協働の街づくりを意識づける 公共下水道の整備						協議会参加者数	人	36	36	40	44	48
						まちづくりに参加する割合	%	13.2	15.3	17.0	18.7	20.4
						進捗率	%	79.0	83.0	87.0	91.0	95.0
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	71,450	59,600	0	0	0	0	0	
	事業費	財源	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		財源	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		財源	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	
		事業費計(A)	千円	20,516	73,976	14,200	18,860	2,860	0			
人件費	正規職員	千円	5,891	1.14人	5,740	1.14人	5,740	1.14人	5,740	1.14人		
人件費	正規外職員	千円	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人	0	0.00人		
人件費	人件費計(B)	千円	5,891	5,740	5,740	5,740	5,740	5,740				
投入量(A)+(B)		千円	26,407	151,166	79,540	24,600	8,600					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ		上菅谷駅前地区土地区画整理事業の着手に伴う公共施設整備と地区活性化のため。										
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		事業が終了に近い為、身近な環境への関心が強く街づくり活動への意識が薄くなっている。										
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		駅舎の改修等の要望有										

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成25年	6月	13日
						点検日	平成26年	6月	25日
事務事業名	菅谷地区まちづくり事業					事業類型	補助事業		
担当部課G等	建設部 都市計画課			都市整備G		記入者氏名	海野英樹		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		8 魅力ある市街地を形成する						
	基本事業名		1 快適な市街地の整備						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	都市計画法、地区計画	
			07	03	03	菅谷地区まちづくり事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成24年度～平成28年度)				
事業概要									
【全体概要】 災害時避難路に通じる生活道路の整備と防災・救助活動拠点となる公園・広場の整備。市街地内の拠点となる施設への回遊性を高めるため、幹線道路及び拠点施設周辺の歩道空間の整備。					【業務内容】 杉原地区計画に基づく、協議会の開催及び地区計画道路の測量設計・用地買収・道路工事。				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)		
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
道路・公園		道路・照明延長	m	1,650	1,650	1,650	1,650	1,650	
		公園面積	m ²	680	680	680	680	680	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
道路測量設計委託 宮の池公園整備、連続照明整備 道路舗装工事		道路・照明工事延長	m	885	0	0	765	0	
		公園整備面積	m ²	350	0	330	0	0	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
用地買収を進める 道路改良工事を進める		整備済道路・照明延長	m	885	885	885	1,650	1,650	
		公園整備済面積	m ²	350	350	680	680	680	
		市街地内の歩道整備延長	m	9,245	9,245	9,710	9,710	12,934	
		市街地内で「安全な生活が送れている」と感じる住民の	%	67.1	67.1	70.8	70.8	74.6	
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画	
事業費	財源	千円	29,812	25,100	0	14,000	2,000	0	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	61,100	13,300	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	4,989	25,341	18,300	4,000	5,000	0	
	事業費計(A)	千円	34,801	50,441	79,400	31,300	7,000	0	
人件費	正規職員	千円	4,731	4,600	4,600	4,600	4,600	0	
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	4,731	4,600	4,600	4,600	4,600	0	
投入量(A)+(B)		千円	39,532	55,041	84,000	35,900	11,600		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ		杉原地区まちづくり事業がH23年度で終了したが、市街化区域の道路が未整備となっているところが多くある。							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		平成24年度から国の補助金により整備を進めている。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		道路だけでなく社会基盤の整備が望まれている							

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み																		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	
0	千円																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価	
目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会基盤整備は快適な社会生活をおくために必要である。
有効性評価 ② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 社会資本総合交付金を活用し、社会資本総合計画を基本に事業を行っている。
有効性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市街化区域であるが社会基盤の整備が遅れているので、これ以上整備を遅らせることはできない。
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 用地買収は、地権者と交渉を行うため人件費の削減はできない。
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 道路は不特定多数の人が利用するものであるため適正である。

3 計画の部(PLAN)																								
(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td><input type="checkbox"/> 目的の再設定</td><td><input type="checkbox"/> 有効性の改善</td><td><input type="checkbox"/> 効率性の改善</td></tr><tr><td><input type="checkbox"/> 公平性の改善</td><td colspan="2"></td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善	<input type="checkbox"/> 公平性の改善																				
<input type="checkbox"/> 目的の再設定	<input type="checkbox"/> 有効性の改善	<input type="checkbox"/> 効率性の改善																						
<input type="checkbox"/> 公平性の改善																								
改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)	改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		○	×																				
	低下		×	×																				
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) 事業計画年度内の竣工を目途に、用地買収や工事を進める。																								
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																								

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	12日
事務事業名	菅谷市毛線街路整備事業					事業類型	施設等整備		
担当部課G等	建設部 都市計画課			都市整備G	記入者氏名	澤島克彦			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)			第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業
	施策名			6 利便性の高い交通基盤を整える					
	基本事業名			1 幹線道路の整備					
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	都市計画法、道路法	
			07	03	04	菅谷市毛線街路整備事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度		(平成21年度～平成30年度)		
		(開始年度		年度～)					
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
那珂市の活性化、交通網の整備、市街地整備等のために、都市計画決定された街路の整備を行う。					都市計画道路整備のため、用地買収および改良工事 延長 L=1400m 幅員 W=16m				

1 現状把握の部(DOシート)											
(1) 事務事業の目的と効果・指標等の推移											
						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等				④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
都市計画道路 菅谷・市毛線				道路延長		m	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
				道路用地面積		m ²	17,088	17,088	17,088	17,088	17,088
②手段(具体的な事務事業のやり方)				⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
道路用地買収 道路改良工事				用地買収面積		m ²	3,717	2,693	1,192	0	1,205
				改良工事延長		m	0	100	250	600	310
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)				⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
早期に供用開始する				用地買収進捗率		%	70	86	93	93	100
				整備済換算延長		m	355	523	744	1,036	1,267
				日常生活において移動に不便を感じていない市民の割合		%	57.83	70.52	72.00	73.50	75.00
							0.	0.	0.	0.	0.
(2) 投入量の推移											
		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画			
事業 費 内 訳	財源	千円	28,600	40,667	39,083	82,500	60,500	326,150			
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	23,400	33,300	31,900	67,500	49,500	266,700			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	17,362	27,203	62,517	26,500	29,000	217,850			
	事業費計(A)	千円	69,362	101,170	133,500	176,500	139,000	810,700			
人件 費	正規職員	千円	4,731	4,600	4,600	4,600	4,600				
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0				
	人件費計(B)	千円	4,731	4,600	4,600	4,600	4,600				
投入量(A)+(B)		千円	74,093	105,770	138,100	181,100	143,600				
(3) 事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			昭和43年に都市計画決定を行った								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			経済状況は回復しつつあるが、財政状況は厳しいままであり、予算の確保が難しく、事業の大きな進捗が望めない。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			早期に完成して欲しいという要望がある。								

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み		
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 (人件費) 〇 千円) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 (人件費) 〇 千円) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価 ① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 道路整備は社会基盤整備であるので必要である
有効性評価 ② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？成果が一部の対象者に限定されていませんか？対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 補助金を受けて計画的に整備を行っている
有効性評価 ③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 都市計画道路なので法線や構造の変更はできない 事業化の前に県事業が可能か検討をしている
効率性評価 ④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 補助金を受けて事業を実施しているので事業費の削減はできない 用地買収は地権者と交渉を行うので人件費の削減はできない
公平性評価 ⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 道路整備は不特定多数の人が利用するものであり、市が負担すべきである

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 見直し(改革・改善) → [目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善]
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

改革・改善による期待成果

成果	向上 維持 低下	コスト		
		削減	維持	増加
			○	×

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入)
 事業計画年度内の竣工を目途に、用地買収や工事を進める。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	12日
						点検日	平成26年	6月	25日
事務事業名	上宿大木内線街路整備事業					事業類型	施設等整備		
担当部課G等	建設部 都市計画課			都市整備G		記入者氏名	澤島克彦		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		6 利便性の高い交通基盤を整える						
	基本事業名		1 幹線道路の整備						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	都市計画法	
			07	03	04	上宿大木内線街路整備事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成22年度～平成30年度)				
事業概要									
【全体概要】 那珂市の活性化、交通網の整備、市街地整備等のために、都市計画決定された街路の整備を行う。					【業務内容】 都市計画道路整備のため、用地買収および道路工事 延長 L=440m 幅員 W=16m				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移		単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	全体計画	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
都市計画道路 上宿・大木内線		道路延長	m	440	440	440	440	440	
		道路用地面積	m ²	6,784	6,784	6,784	6,784	6,784	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
道路用地買収 道路改良工事		用地買収面積	m ²	489.	29.	213.	160.	2038.	
		改良工事延長	m	0.	180.	60.	60.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
早期に供用開始する		用地買収進捗率	%	64.0	64.0	68.0	70.0	100.0	
		整備済延長	m	204	240	260	308	376	
		日常生活において移動に不便を感じていない市民の割合	%	57.83	70.52	72.00	73.50	75.00	
				0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画	
事業費	財源内	国庫支出金	千円	40,326	15,114	5,610	20,350	29,150	167,200
	財源外	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	33,000	14,200	2,700	16,600	23,800	136,800	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	14,440	4,948	11,457	8,150	12,250	117,500	
	事業費計(A)	千円	87,766	34,262	19,767	45,100	65,200	421,500	
人件費	正規職員	千円	4,731	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	
	人件費計(B)	千円	4,731	4,600	4,600	4,600	4,600		
投入量(A)+(B)		千円	92,497	38,862	24,367	49,700	69,800		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ		昭和43年に都市計画決定を行った							
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		経済状況は回復しつつあるが、財政状況は厳しいままであり、予算の確保が難しく、事業の大きな進捗が望めない。							
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		早期に完成して欲しいという要望がある。							

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) ホームページに街路整備状況を公表	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input type="checkbox"/> 増加 (事業費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費) <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円										
0	千円										
0	千円										
0	千円										

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 道路整備は社会基盤整備であるので必要である
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 補助金を受けて計画的に整備を行っている
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 都市計画道路なので法線や構造の変更はできない 事業化の前に県事業が可能か検討をしている
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削除余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削除余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 国の補助金を受けて事業を実施しているので事業費の削減はできない 用地買収は地権者と交渉を行うので人件費の削減はできない
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求めない事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求めない事業ではない 道路整備は不特定多数の人が利用するものであり、市が負担すべきである

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善
 公平性の改善
→ 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入)
事業計画年度内の竣工を目途に、用地買収や工事を進める。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成25年	6月	13日
						点検日	平成26年	6月	24日
事務事業名	公園管理事業					事業類型	その他		
担当部課G等	建設部 都市計画課			都市整備G		記入者氏名	海野英樹		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画対象事業	
	施策名		8 魅力ある市街地を形成する						
	基本事業名		2 公園の適正な管理						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	都市公園法	
			07	03	06	公園管理事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
			(開始年度 年度～)			(年度 ~ 年度)			
事業概要									
【全体概要】 公園緑地の管理及び施設の維持補修等					【業務内容】 公園の緑化管理 公園施設の管理				

1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
都市公園および開発行為で帰属された緑地						都市公園数	箇所	16	16	16	16	16
						その他の公園数	箇所	60	65	65	65	65
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
公園内の緑化管理、遊具の点検・補修 公園内の放射線の測定						遊具の点検	回	2	2	2	2	2
						放射線の測定	回	12	12	12	12	12
						公園管理協定の締結	団体	0	24	26	26	26
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
市民が安全・快適に公園を利用できる 災害時の避難場所を確保する						公園面積	m ²	353,815	354,570	354,570	354,570	354,570
						市民一人当たり公園面積	m ² /人	6.34	6.33	6.34	6.39	6.41
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	30,040	29,645	36,747	36,747	36,747	36,747	36,747	36,747	36,747	
事業費計(A)	千円	30,040	29,645	36,747	36,747	36,747	36,747	36,747	36,747	36,747		
人件費	千円	4,731	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600		
正規職員			0.94人	0.94人	0.94人	0.94人	0.94人	0.94人	0.94人	0.94人		
正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
人件費計(B)	千円	4,731	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600	4,600		
投入量(A)+(B)	千円	34,771	34,245	41,347	41,347	41,347	41,347	41,347	41,347	41,347		
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ						公園の整備に伴い管理が必要となる						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)						公園内の遊具や緑化に対する要求が高くなっている						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)						遊具の安全管理の徹底、適切な緑化管理、公園内駐車場の適切な管理等を求められている。						

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	5月	21日
						点検日	平成26年	6月	24日
事務事業名	区画整理事業費					事業類型	その他		
担当部課G等	建設部 都市計画課			都市計画G		記入者氏名	椎名健文		
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第2章 安全で快適な住みよいまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		8 魅力ある市街地を形成する						
	基本事業名		1 快適な市街地の整備						
予算科目	会計	09	款	項	目	事業名	根拠法令	都市計画法、区画整理法	
			02	01	01	区画整理事業費			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (平成14年度～平成29年度)			
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
JR上菅谷駅を中心とした約5.9haの土地区画整理事業を実施し、上菅谷駅周辺の都市基盤(上菅谷停車場線・上菅谷下菅谷線・駅前広場・公園等)の強化を図り、住居と商業が連携し、市の核となる中心市街地の形成を図る。					建物等の移転を行い道路改良舗装工事や宅地造成工事を行う。				

1 現状把握の部(DOシート)												
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等						④対象指標(対象の大きさを表す指標)						
地区内の住民、世帯 商業事業者						地区内の世帯数	世帯	66	67	68	69	70
						地区内の事業者数	件	16	16	17	18	18
②手段(具体的な事務事業のやり方)						⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)						
建物等移転 道路改良工事 宅地造成工事						建物等移転件数	件	2	4	1	1	0
						道路整備延長	m	30	0	65	120	0
						宅地造成面積	m ²	419	0	940	0	0
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)						⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)						
生活の利便性を高めてもらう。近隣商業の活性化 公共交通の利便性向上						地区内の人口	人	235	235	235	235	235
						地区内の世帯数	世帯	66	67	68	69	70
						区画整理事業整備率	%	79.0	83.0	87.0	91.0	95.0
(2)投入量の推移						単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画
事業費	財源	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
	内	財源	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	18,700	82,400	0	0	0	0	0	
	費	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	7,910	8,862	25,056	35,000	46,000	0	0		
	事業費計(A)		千円	7,910	27,562	107,456	35,000	46,000	0	0		
人件費	正規職員	千円	5,891	5,740	5,740	5,740	5,740	5,740	5,740	5,740		
	正規外職員	千円	0	0	0	0	0	0	0	0		
	人件費計(B)	千円	5,891	5,740	5,740	5,740	5,740	5,740	5,740	5,740		
投入量(A)+(B)		千円	13,801	33,302	113,196	40,740	51,740					
(3)事務事業の環境変化・市民意見等												
①事業を始めたきっかけ			上菅谷下菅谷線(県施行)の事業着手に合わせた上菅谷停車場線と駅前広場の整備を図るため。									
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			地価の下落とともに財政状況は厳しくなり、限られた財源の中でより円滑な事業の執行が必要となっている。									
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			上菅谷駅舎の改修により地域活性化につながると期待がある。									

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み

前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) (前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input type="checkbox"/> 増加 (事業費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table> (人件費 <table border="1"><tr><td>0</td><td>千円</td></tr></table>) <input checked="" type="checkbox"/> 反映なし	0	千円	0	千円	0	千円	0	千円
0	千円									
0	千円									
0	千円									
0	千円									

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市街地の中でも最も重要な交通結節点であり、本市の顔となる地区の生活基盤整理のため。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <input type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 区画整理事業による基盤整備に留まらず、街づくり活動を充実させることによって、潤いある住環境の形成を図ることとしており、これ以上の成果の向上の余地はない。
	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市街地において拠点としての機能を担う地区であり類似事業はない。 また、事業は8割が完了しており、廃止も考えられない。
効率性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 現在の事業が標準的な整備であり、必要最小限の整備であり事業費の削減余地はない。 区画整理関係及び他の事業も1グループで対応しており、人件費の削減余地もない。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 区域内の土地所有者等からその土地や位置に応じて少しずつ土地を提供(減歩)してもらい、区域内の道路や公園などの公共用地に充てている。

3 計画の部(PPLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載

終了 廃止 休止 統廃合
 継続 → 見直し(改革・改善) → { 目的の再設定 有効性の改善 効率性の改善 }
 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)

改革・改善の具体的内容(改革案・実行計画)

改革・改善による期待成果

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	⊗
	低下		⊗	⊗

(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)
 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入)
 未同意者の交渉を含めた懸案事項の解消に努め、事業計画内の完了を目指す。

(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)

終了 廃止 休止 統廃合 継続 (見直し 現状維持)

評価対象年度	平成25年度		事務事業評価シート			作成日	平成26年	6月	10日
						点検日	平成26年	6月	17日
事務事業名	市営住宅管理事業					事業類型	管理・運営		
担当部課G等	建設部 建築課		住宅・営繕グループ		記入者氏名	萩野谷 貴之			
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第3章 健やかで生きがいをもって暮らせるまちづくり					■ 実施計画 対象事業	
	施策名		1 家庭や地域で支えあう福祉環境を整える						
	基本事業名		2 生活援護の充実						
予算科目	会計	01	款	項	目	事業名	根拠法令	公営住宅法	
			07	04	01	市営住宅管理事業			
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度			
			(開始年度 年度～)			(年度 ~ 年度)			
事業概要									
【全体概要】					【業務内容】				
所得が少ないなどの理由により民間アパートへの入居が困難な者に対して市営住宅を安い家賃で賃貸するため、市営住宅を適正に維持管理する。					・使用料(家賃)の決定、徴収・市営住宅の施設及び設備の維持補修 ・住宅の入退居に伴う事務				

1 現状把握の部(DOシート)											
(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移						単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込)	27年度 (計画)	28年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等			④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
市営住宅施設			市営住宅管理戸数			戸	280	280	280	280	280
②手段(具体的な事務事業のやり方)			⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
使用料(家賃)の決定・徴収、施設設備の維持補修、入退去に伴う事務など			市営住宅使用料			千円	80,504	77,315	77,000	77,000	77,000
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)			⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
安心して快適な生活を営んでもらえる施設にする			市営住宅の修繕件数			件	72	80	80	80	80
			入居率			%	97.0	93.0	95.0	95.0	95.0
(2)投入量の推移		単位	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(見込)	27年度(計画)	28年度(計画)	全体計画			
事業内 費	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	財源支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	21,304	25,532	21,485	25,000	25,000	0			
	一般財源	千円	0	0	0	0	0	0			
	事業費計(A)	千円	21,304	25,532	21,485	25,000	25,000	0			
人件費	千円	5,970	7,840	8,320	8,320	8,320	1.30人	1.70人	1.60人	1.60人	
正規職員	千円	0	0	0	0	0	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	
正規外職員	千円	5,970	7,840	8,320	8,320	8,320					
人件費計(B)	千円	5,970	7,840	8,320	8,320	8,320					
投入量(A)+(B)		千円	27,274	33,372	29,805	33,320	33,320				
(3)事務事業の環境変化・市民意見等											
①事業を始めたきっかけ			戦後の住宅不足を解消し、低所得者・住宅困窮者の安定した生活を支援するために、昭和24年に公営住宅を設置したことによる。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			・社会情勢の変化や高齢化の進展に伴い住宅困窮者が増加する一方で、民間アパートの空き部屋数は増加しており、公営住宅以外の支援策が検討されてきている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			・住宅困窮者(生活保護世帯、母子家庭、障がい者、独居老人等)からは、優先入居の要望がある。・財政状況が厳しいなかで、安易に市営住宅を増やすべきではないとの意見がある。								

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取り組み																	
前年度の評価の結果、どのように取り組みましたか？ また、取り組み後どのように変わりましたか？ 見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前年度最終評価) <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 	(前年度評価結果を踏まえた見直し内容) <p>那珂市営住宅あり方検討を行い、特に老朽化の進んだ2団地については用途廃止も視野に入れ引き続き検討する。</p>															
		(予算への反映) <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 70%;"><input type="checkbox"/> 削減 (事業費)</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">0</td> <td style="width: 20%;">千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 増加 (事業費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">(人件費)</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td>千円)</td> </tr> <tr> <td colspan="3"><input checked="" type="checkbox"/> 反映なし</td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)	(人件費)	0	千円)	<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし		
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費)	0	千円)															
(人件費)	0	千円)															
<input checked="" type="checkbox"/> 反映なし																	

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 公共関与の妥当性 国・県・広域・民間事業者が同様の事業を実施していませんか？ 市が主体となつてこの事業を行うことは妥当ですか？ その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 所得が少ない等の理由により、民間アパートに入居できない者に対し、安い家賃で住居を提供するのが公営住宅の目的であり、那珂市の市営住宅を市自らが管理するのは妥当である。
有効性 評価	② 成果の向上余地 所期の見通しに沿った成果となっていますか？ 成果が一部の対象者に限定されていませんか？ 対象指標が増加する場合、現状どおりの事業内容では成果が低下するおそれはありませんか？	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 入居率が低下した住宅については、入居者の資格について再検討の余地がある。また、老朽化住宅の今後の管理方法を検討し、用途廃止や大規模修繕により修繕件数の減少の余地がある。
効率性 評価	③ 類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 他課室等で実施している事業に対象指標や活動指標が似ている事業はありますか？ 廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込めますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合の余地がない <input type="checkbox"/> 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がなく、統廃合の余地がない。 入居者の中には市営住宅以外には入居不能の低所得者も多く、現時点において事業の廃止休止は困難である。
公平性 評価	④ 事業費や人件費の削減余地 成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？ 担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できますか？ 事業目的にそぐわない支出はありませんか？	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 借地料の見直しは実施済。次回はH27年度予定。 不況等の影響による使用料滞納の増、経年劣化、震災の影響による修繕箇所の増等、今後も事務量の増が見込まれる為人件費の削減は困難。
公平性 評価	⑤ 受益者負担の適正余地 事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？ 受益者負担を求める事業ではない負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	<input checked="" type="checkbox"/> 適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 市営住宅の入居者からは、法に基づいた使用料(家賃、駐車場代、共益費)を徴収している。

3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性) ※担当課長、グループ長、担当者が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → { <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 } <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)																						
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 建築後40年程度が経過し老朽化した住宅(旧耐震基準で建てられた82戸)について、木造住宅を中心に簡易的な耐震診断を実施し、今後の管理方針(建替、大規模修繕、用途廃止等)について引き続き検討を行う。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策)) ※担当部長が記載																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (<input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持) 担当部長としての意見・考え方(1次評価者と同じの場合も記入) 今後の市営住宅の在り方を検討したうえで管理方針を決定していく。																						
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 (<input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持)																						